



Pandora FMS 6.0 SP3

リリースノート

新たな機能

- 新たにクラウドベースのリモート管理システムである、[eHorus との統合](#)をしました。ターミナルと画面を共有するリモート管理を可能にします。また、サービスとプロセスのリアルタイムの管理を可能にします。
- ビジュアルコンソールとダッシュボードにおける、大幅なデザインの改善を行いました。高品質な完全にカスタマイズ可能な画面を作成することができます。
- L2 ネットワークの自動検出アルゴリズムを改善しました。複雑な環境におけるより正確ネットワークマップの作成が可能です。
- Pandora FMS のヘルプデスクツールである Integria IMS との統合を改善しました。チケット作成フローとインベントリ管理を改善しています。
- アップデートマネージャを改善しました。Pandora FMS が必要な情報や通知を受ける時に、よりカスタマイズできるような、新たな自動検出およびユーザ機能が追加されています。
- 新たに SAML 認証オプションを追加しました。
- エージェントでグループ化するイベントの新たな表示方法を追加しました。

以前のバージョンからの変更点

- Pandora ヘッダーの警告アイコンが、PM 権限を持つ通常ユーザまたは管理者でのみ表示されるようにしました。
- アップデートマネージャの場所を変更しました。そのオプションのために場所を予約しています。
- タイムゾーン、言語、管理者のメール設定のための、新たな初期設定アシスタントを追加しました。このメールアドレスは、“Mail to Admin” アクションを使った場合のデフォルトの通知先として使われます。
- サイドメニューがマウスオーバーではなく、クリックすることにより表示されるようにしました。
- Tentacle をバージョン 0.6.0 にアップデートしました。



バグ修正

- Enterprise ACL が有効化されている時にメニューにエラーが表示される問題を修正しました。
- ビジュアルダッシュボードエディタの複数のマイナーな不具合修正をしました。
- モバイルコンソールでのログインの問題を修正しました。
- ビジュアルコンソールの公開 URL の問題を修正しました。
- リソースエクスポートの拡張でエクスポートしたときに 500 エラーが返る問題を修正しました。
- アップデートマネージャでプロキシ設定をしている場合に更新エラーが発生する問題を修正しました。
- カスタムグラフで表示を間違える問題を修正しました。
- メタコンソールにおけるレポートの問題を修正しました。
- グラフキーと同様にパイおよびゲージグラフの不具合を修正しました。
- メタコンソールとその管理下のノードの間で、OS とモジュールグループの同期でエラーが発生する問題を修正しました。
- CLI でいくつかの問題を修正しました。
- IPAM 検出タスクで生成されたイベントで、関連付けられたエージェントが表示されない問題を修正しました。
- ウェブサーバで全タイプのチェックが完全に実行されない問題を修正しました。
- ノードとメタコンソール間のイベント複製の問題を修正しました。
- CLI の `create_event` 機能で、空のイベント作成できる問題を修正しました。
- スキンの作成を修正しました。
- ビジュアルコンソールで、単一値のウィザードを使った場合の一括要素作成を修正しました。



アップデート方法

既存のシステムのバックアップ

アップデートの前に、既存の Pandora FMS システムをバックアップします。

ファイルやデータをアップデート前の状態に戻せるように、外部バックアップ、ファイルシステムのスナップショットなどを利用します。

Pandora FMS のバックアップに関する詳細は、オンラインドキュメントの [バックアップ手順](#) を参照してください。

アップデート手順

ここでは、Pandora FMS アプライアンス 6.0 を 6.0 SP3 へアップデートする手順を説明します。

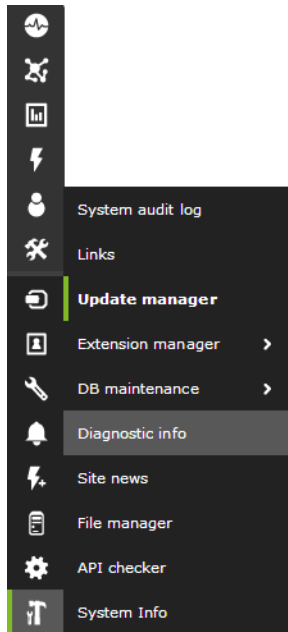
それには、Pandora FMS サーバを停止する必要があります。2 分ほどです。

注意: アップデートには管理者権限のユーザアカウントが必要です。アップデートの前に、Pandora FMS サーバとコンソールの接続が確保できていることを確認してください。

1. RPM 形式の "[Pandora FMS サーバ](#)" ダウンロードし、Pandora FMS サーバへ転送します。
2. RPM 形式の "[Pandora FMS エージェント](#)" をダウンロードし、Pandora FMS サーバへ転送します。
3. Enterprise 版を利用の場合は、サポートサイトからご利用のアーキテクチャに合った "[Pandora FMS Enterprise server](#)" の TAR.GZ ファイルをダウンロードし、Pandora FMS サーバへ転送します。
4. Enterprise 版を利用の場合は、サポートサイトから "OUM 611" をダウンロードし手元の PC に保存します(サーバへ転送する必要はありません)。
5. Pandora FMS サーバを停止します。 `:/etc/init.d/pandora_server stop`
6. ファイルを置いたフォルダで以下を実行します。
 - a. `cp -p /etc/pandora/pandora_server.conf /etc/pandora/pandora_server.conf.bkp`
 - b. `rpm -U --force pandorafms_server-6.0SP3-1.noarch.rpm`
 - c. `rpm -U --force pandorafms_agent_unix-6.0SP3-1.noarch.rpm`
7. Enterprise 版を利用の場合:
 - a. `tar -xvf pandorafms_server_enterprise_6.0SP3_<architecture>.tar.gz`
 - b. `cd pandora_server`
 - c. `./pandora_server_installer --install`
 - d. `mv -f /etc/pandora/pandora_server.conf.bkp /etc/pandora/pandora_server.conf`



- Pandora FMS コンソールで、左側のメニューの拡張(Extensions) -> アップデートマネージャ(Update Manager) へ行きます。:



- 右上のオフラインアップデートマネージャボタンをクリックします。
- “ブラウズしてください(Browse it)” をクリックし、ダウンロードしておいた “OUM 611” を選択します。アップロードが完了したら、“package_611.oum” をクリックし、インストールが完了するのを待ちます。完了するとフッターに表示されるバージョンが 6.0SP3 に変わります。
- Pandora FMS サーバを起動します。:`./etc/init.d/pandora_server start`
- エージェントを再起動します。:`./etc/init.d/pandora_agent_daemon restart`

日本国内向けのお問い合わせ先:



株式会社アールワークス

〒162-0824 東京都新宿区揚場町 1-18 飯田橋ビル 6F



03-5946-8405 (平日 10:00~18:00)



<http://ms.rworks.jp>

rw-sales@rworks.jp

